

人と自然が輝く水源の郷



中学時代を思い出し父兄全員での合唱

- 定例会（平成29年度一般会計補正予算他）…………… P 2
- 決算認定（平成28年度）健全な財政状況と判断…………… P 4～5
- 一般質問（6人が問う）…………… P 7～12
- あの一般質問は・今（各指定管理の運営状況について）…………… P16
- 紹介／がんばる人紹介（農業委員会会長／道志中学校校長）…………… P17～18

みなさまの声を議会に

TEL : 0554-52-2112 FAX : 0554-52-2572 E-mail : gikai@vill.doshi.lg.jp

9月 定例会

平成28年度決算認定の審議 植草浩子水源林保全基金条例制定

9月定例会は9月12日から22日まで開催され、平成29年度一般会計補正予算、29年度6件の特別会計補正予算、1件の条例制定、2件の改正、平成28年度決算認定、28年度7件の特別会計決算認定などを審議し、原案通り可決承認しました。

おもな審議事項

●平成29年度一般会計補正 4589 万円を追加、総額 19 億 8286 万円で議決

おもな財源	・村 税 (村民税、固定資産税、軽自動車税の調定額確定) ……………	28 万円
	・地方交付税 (普通交付税算定による増額) ……………	8603 万円
	・繰越金 (平成28年度決算による繰越金の確定) ……………	1426 万円
	・村 債 (土木施設事業債) ……………	441 万円
おもな使いみち	・民生費 (地域福祉計画作成委託料他) ……………	501 万円
	・農林水産業費 (農道、水路等緊急修繕費他) ……………	946 万円
	・商工費 (観光費、道の駅エアコン設置費他) ……………	519 万円
	・土木費 (簡易水道事業特会繰出金、浄化槽事業特会繰出金他) ……	1535 万円
	・教育費 (道志小中学校備品購入費、公民館修繕費他) ……………	404 万円

●平成29年度特別会計補正 5 会計で 3496 万円を追加、6 会計総額 9 億 3128 万円で議決

おもな財源	・村 債 (過疎対策事業債他) ……………	1170 万円
	・繰越金 (介護保険特別会計他) ……………	1340 万円
おもな使いみち	・基金積立金 (介護給付費準備基金積立金他) ……………	860 万円
	・諸支出金 (国庫支出金、償還金他) ……………	485 万円
	・浄化槽事業費 (浄化槽本体工事、宅内排水工事他) ……………	1680 万円

●条例制定、改正を議決

条例制定 1 件	・植草浩子水源林保全基金条例
条例改正 2 件	・道志村各種委員等報酬並びに費用弁償条例の一部を改正する条例
	・道志村介護保険条例の一部を改正する条例

●30 人以下学級実現、義務教育費国庫負担金制度拡充を図るための請願を採択

教育環境整備のため、30 人以下学級とし、義務教育費国庫負担金制度の国負担割合を二分の一に還元し、教育予算の拡充を求める請願で、国の関係機関に意見書を提出。

QA 議案等の質疑



本定例会で行った、協議会での質疑の一部を紹介します。

植草浩子水源林保全基金条例の制定を下記のとおり決議

- 1、題名 植草浩子水源林保全基金条例
- 2、趣旨 道志村内の山林保全と森林環境整備を推進し水源の保護と育成のため計画活用する。
- 3、条例制定の背景等
寄付者、植草浩子（平成 28 年死去 生前住所・横浜市）は平成 21 年から平成 28 年まで、横浜市の水源地である道志村に対し、山林保全の趣旨に沿って総額 142 万円の寄付をしていたが、平成 28 年遺言公正証書によって、道志村に対し 6877 万円の遺贈の意思が遺言執行者から示されたものである。道志村としては、検討の結果合計金額も多額の 7019 万円となることから本人の意志を尊重し同趣旨をもって寄付採納となった。
- 4、金額 70,190,000 円
- 5、施行期日 公布の日から施行する。

Q 簡易水道特別会計への一般会計からの繰入金が増加傾向にあるが、水道使用料は値上げできないか

- 基本的収入は水道使用料のみである

A 水道使用料の値上げは加入者数の減少にもつながり検討が必要である。

万円など 総額 32 億円

(7 会計の合計) 8 億 4059 万円

*平成 28 年度分工事請負費 3 億 8541 万円
その他の費用 (外構工事、備品整備 他) 8618 万円

平成 28 年度 一般会計の決算

■ 歳入 (はいつてくるおかね) ……	24 億 8769 万円
■ 歳出 (どうつかわれたか) ……	23 億 7064 万円
■ 歳入歳出差引 (のこったおかね)	1 億 1705 万円
繰越事業に充当するお金	3 5 4 2 万円
繰越金 (29 年度の事業で使うお金)	8 1 6 3 万円

(単位：千円以下切捨て)

平成 28 年度 特別会計の決算

(単位：千円以下切捨て)

会 計 名	歳 入 総 額	歳 出 総 額
国民健康保険	3 億 4589 万円	3 億 2728 万円
国民健康保険診療所	1 億 1483 万円	1 億 1483 万円
簡易水道事業	7084 万円	6788 万円
介護保険	2 億 943 万円	1 億 9445 万円
介護サービス事業	131 万円	131 万円
浄化槽事業	9365 万円	9355 万円
後期高齢者医療	4130 万円	4130 万円
合 計	8 億 7725 万円	8 億 4060 万円

* 学校建設費 4億719

【一般会計 23 億 7064 万円・特別会計

【一般会計の目的別歳出】

● 議会費

28 年度 4 1 1 5 万円
27 年度 4 4 2 3 万円

● 総務費

28 年度 3 億 6 2 9 6 万円
27 年度 3 億 2 5 8 7 万円

● 民生費

28 年度 2 億 7 1 2 2 万円
27 年度 2 億 3 1 2 5 万円

● 衛生費

28 年度 1 億 4 8 1 万円
27 年度 1 億 3 9 4 万円

● 農林水産業・商工費

28 年度 2 億 3 4 3 9 万円
27 年度 2 億 6 2 9 0 万円

● 土木費

28 年度 1 億 5 8 3 5 万円
27 年度 2 億 1 3 8 4 万円

● 消防費

28 年度 1 億 1 4 9 0 万円
27 年度 1 億 7 4 8 万円

● 教育費

28 年度 6 億 3 7 8 2 万円
27 年度 7 億 5 0 3 0 万円

★ 小学校建設費含む

● 災害復旧費

28 年度 0 円
27 年度 2 8 0 9 万円

★ 災害事業 0 件の為

● 公債費（借金の支払い）

28 年度 2 億 8 3 8 1 万円
27 年度 2 億 7 7 3 0 万円

● 諸支出金

28 年度 1 億 6 1 2 4 万円
27 年度 1 億 1 8 2 6 万円

監査結果 財政の健全化判断比率の指標は、実質公債比率において昨年度の 6.1% とほとんど変わらず 6.2% の為、早期健全化基準 25% を大きく下回っている、健全な財政状況であると判断する。また、各課の事務、事業執行状況については適正に処理されている。

9月定例会一般質問一覧

- 佐藤 一仁 議員
 1. 防災トンネルの実現性は
 2. 人口減少問題は
 3. 道志版サテライトオフィス構想は
 4. 遠隔診療導入時の連携医療機関は
 5. 公共交通システムの形態と実施時期は
- 佐藤 長久 議員
 1. 社会福祉協議会の職員体制は
- 山口 博康 議員
 1. 国道413号交通事故防止対策は
 2. 農政推進と食用菊の今後の見通しは
- 佐藤 和彦 議員
 1. 現在使用していない公共施設の対策は
 2. 公共交通ニーズ調査等の経緯は
- 杉本 孝正 議員
 1. 総合戦略の28年度目標達成は
 2. 学童保育所どうしこの活用は
 3. 中学校授業でのICTを活用したRESASは
- 大田 博文 議員
 1. 効果的な交通手段の整備は
 2. 保育所の移転計画は
 3. 役場庁舎の建て替え計画と今後の方向性は

一般質問 村政を問う ここが聞きたい

※一般質問の形態・方法が変わりました。平成28年9月定例会から一問一答方式を試行的に行っています。

6人の議員が質問

- ・ 本文掲載は要旨のみです。
- ・ 再質問は議事録で閲覧できます。
- ・ 議事録は議会ホームページで11月上旬ごろ閲覧できます。

議会を傍聴しませんか

- ・ 次回定例会は12月に開催します。
- ・ 傍聴の定員
- ・ 本会議10人（席の都合上）
- ・ 9月定例会の傍聴実績
- ・ 本会議6人
- ・ 問い合わせ 議会事務局

☎ 0554-521112



かずひと
佐藤一仁 議員

Q 防災トンネルの実現性は

A 現在期成同盟会を設立事業化を推進中

佐藤

道坂トンネル（防災）完成までの計画と、期成同盟会の開催結果、及び同トンネル内に防災備蓄倉庫を備えシェルターとしての機能を持たせた防災トンネルの実現性は

産業振興課長

平成27年7月山梨県道路整備推進協会に21番目で加盟して現在、県・国へ要望している。トンネル事業化の時期は明確ではないが、事業化して完成までの時間は8年〜12年を見込んでいます。

期成同盟会は日程が合わず開催していませんが時期をみて開催します。防災トンネルに備蓄倉庫を備えたシェルター機能を持つトンネルの実現は今後関係各所に要請活動をしします。

Q 人口減少に歯止めを

かけ、定住人口を増やすとしてきたが、4年前に比べ148人減少している主な要因は何か。また、今後定住人口増加実現のための具体策は

A 村内に新しい仕事を

創り移住を促進

総務課長

平成25年からの人口減少は、出生率の低下と自然減の増加、社会的な転出も要因として考えています。

今後の人口増加の具体策は村内にICT関連の仕事を生み出すことが出来ればと考えています。そのための出先機関であるサテライトオフィスを提供し移住推進と同時に住宅支援、子育て支援もします。

Q 道志版サテライトオフィス構想の具体的な内容と推進日程は

A 県と協議し方針決定

村長

道志村の立地条件を活用した構想を企画して提案します。

また、山梨県地域創生人口対策課と協議を進めながら決定します。

機関と協議しながら相手先を見つけないと考えるといます。

Q 公共交通システム（通学、通勤、通院、買い物）の構築を推進するとの方針を示しているが、その形態と実施時期は

A ニーズ調査をして検討

総務課長

ニーズ調査を実施して、経費検討を行い民間法人を育成するか、指定管理、また、ボランティア団体による運営が良いのか検討します。

実施時期については検討が完了したところで予算化を協議したいと思えます。

（再質問あり）

A 県及び関係機関と協議を進め検討

村長

村の診療施設と最先端医療技術を有する医療機関と医療協定を結ぶ必要があり、今後、県、関係

Q 社会福祉協議会の職員体制は A 誠意と熱意のある人材を確保



佐藤

社協の職員体制は、女性職員の定着に課題があり、期待されている多くの事業を実施するには困難と思うが、対策は

住民健康課長

平成27年以降、職員の退職・採用はありましたが、個人の事情によるものであり、今後も地域福祉に誠意と熱意のある人材確保と、社会福祉協議会の役割を充分に果たしていく体制づくりに努めていきたいと思います。

Q 社協の会長を村長以外の者が務めることは

A 定款に基づき選任

住民健康課長

会長選任は、定款により、理事会の議決により理事の中から選任することになっており、村長が務めているのは、

行政福祉と社会福祉協議会の地域福祉活動を指揮する者の一つにし、効果的及び効率的に福祉事業を進めてきたものと考えております。

今後、会長の選任は、定款に基づき村長以外の理事の中から選任することも、あることだと考えています。

Q 財政に対する認識と見直しは

A 必要な財政支援

住民健康課長

社会福祉法人社会福祉協議会は、関係者などの参加・協力で組織され、自主性と、公益性という2つの側面を合わせ持った、民間非営利組織です。今後も行政と連携を密にし、必要な財政支援を行い、「ほっとかない村づくり」の実現に向けた活動を行っていきたく考えています。

Q 道志村社協と山梨県社協との関係は

A 相互の連携を図る

住民健康課長

社会福祉協議会は、全国に設置され、そのネットワークにより活動を進めている団体です。このことから、地域福祉の推進を図ることを目的に相互の連携を図っていくものと考えています。

Q 社協の内部監査は機能しているか

A 機能は果たしている

住民健康課長

監事の職務及び権限は、定款で定めており、理事の職務の執行を監査することとなり、監事により内部監査を行っているため、充分機能は果たしているものと考えています。

Q 社協の重要な役割にボランティアの育成指導があるが、参加見通しと、現在の職員体制で事業遂行に支障はないか

A 職員体制の充実を図る

住民健康課長

ボランティアの育成は、社会福祉協議会の重要な役割の一つであり、平成28年度から事業計画の重点目標の一つに、「ボランティア組織体制の充実」を掲げ、取り組んでいます。現在のボランティア状況は、4つの組織があり、会員の協力と努力により増員しつつあります。事務局としても、職員体制の充実を図り、ボランティアをする人、受ける人の気持ちを大切に、地域福祉活動が推進できるよう努めていきます。

(再質問あり)

Q 国道413号交通事故防止対策は

A 関係機関と連携し、交通事故防止対策を行う



山口博康 議員

山口

年間30〜40件の交通事故が発生し、特にバイク事故が多く、山伏峠では死亡事故も発生しました。

事故防止と村のイメージアップには、強力な交通安全対策が必要だと考えるが

総務課長

近年413号線は知名度も向上し、バイクに加え自転車での交通量も増えることが予想されるので、7月9日には安協道志支部と山梨県警、神奈川県警合同によりバイクを対象にした街路指導を実施し、7月末にも夏の交通事故防止県民運動を道の駅どうし内で開催し、事故防止に対する啓発活動を行いました。
また、死亡事故発生現場へ村担当職員・大月警

察署・県建設事務所職員

と出向き、路肩へのポール設置や段差舗装の修繕等、道路構造上の問題点も改善しました。

今後も、関係機関と連携し、交通事故防止策を講じます。

Q 食用菊の試験栽培でハウス全体に作付がされていけない原因は。また、販路と今後の見通しは

A 原因究明中、今後は村内農業者へ普及を図る

産業振興課長

食用菊は、現在試験栽培を行っています。

一部の品種は生育状況が悪く、農務事務所と県技術センターで原因究明中です。判明後は、次回からの栽培に反映させた

いと考えています。

販路は、試験栽培中は道の駅で販売と手作りキッチンでの使用を考えています。

今後の見通しは、試験販売の収支結果をみて、推奨作物として村内農業者への普及を考えています。

Q 農業生産法人「どうし食と農の環」の事業内容で、農地景観保全と農産物栽培は景観保全上とてもよい対策と思うが役場との協力関係は。また、今後の指導方針は

A 村のイメージアップにるので今後も助成

産業振興課長

村内で唯一の農地所有適格法人である「どうし食と農の環」については、本村の農地の景観保全と

荒廃農地の減少対策の一翼を担って頂いており、立ち上げ時から農機具の貸与、水田活用交付金等の助成を行っています。

今後の支援方針は、荒廃農地の減少・景観保全は村のイメージアップの点から必要な施策であると考えますので法人・個人問わず今後も必要に応じて助成を考えます。
(再質問あり)



国道413号危険箇所及び事故多発地点

Q 現在使用していない公共施設の対策は

A 庁内ワーキングで検討開始



佐藤

平成28年度に公共施設管理計画が策定され、その中には10年以上も使用しないで管理費がかかっている施設が数件あります。今後の対策は

村長

道志水源の森については、「郷土芸能保存伝習館（野外音楽堂）」を含め、9月中旬に指定管理者を公募し、事業者から使用方法について提案をいただく中で取り壊しも含め利用方法について方向性を定めて行こうと考えております。また、水源の森以外の公共施設で10年以上使用していない物件はありませんが、現在使用していない物件については、庁内ワーキングにおいて、検討を始めたところですが、グリーンロッジ

については、平成26年度以降使用しておらず、老朽化も進んでおりますので、解体の方向で検討しております。

Q 高等学校に通っている生徒は、吉田方面13名、大月都留方面に18名います。また、学習塾等に通っている中学生などもいます。この中には定期バスの時間帯が合わず、送迎を余儀なくされている保護者がいます。道志村総合計画には公共交通のニーズ調査、公共交通体制の導入検討・充実とあるが

A 本年度から検討を開始

総務課長

平成28年3月に策定した道志村総合計画の中で、公共交通の維持、充実と

あり、指標についても満足度の数値を現状31%から平成32年度までに40%に引き上げることになっており、本年度から検討を開始したいと考えています。実際に通学等で不便をかけている父兄等に

ニーズ調査を行い、経費算出や運営方法等、検討します。運営については、検討し、できる限り早急に実施できるように準備します。（再質問あり）



Q 総合戦略の28年度目標達成は A 移住者の増加目標は達成



たかまさ
杉本孝正 議員

杉本

道志村まち・ひと・

しごと創生総合戦略は、平成27年度から平成31年度の5年間で計画期間とし、数値目標及び施策の重要業績評価指標を設定し、年度ごとに施策の実施状況及び目標達成状況を検証していくPDCAサイクルを導入するとあるが、平成28年度の目標達成状況は

村長

平成28年度の基本目標1の数値目標を移住者の増加数年間8名としていきます。平成28年度の増加数10名となり数値目標は達成しています。

基本目標2の数値目標は出生率としていきます。平成28年度は1・43でした。平成31年度の目標値1・58の達成に向けて戦

略事業を進めていきます。

また、平成29年6月21日に第3回道志村まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を開催し、平成28年度末の基本目標数値及びKPI数値について説明しました。

Q 学童保育所どうしっ

この活用は特色ある学習環境の整備を掲げ、塾と連携した地域の力の強化を図るとし、長田村長の公約の中にもICTを活用した学習塾等の設置を推進するところがあるが、その後の進捗状況は

A 学習塾開設の検討

教育長

大手学習塾経営会社から「学習支援塾の提案」をいただき、学習塾開設の検討を行っています。

学習塾開設にあたっては、

村内で開設している塾等との調整と、指導形式についても検討が必要です。学童保育施設は学校と同じ敷地内にあるので指導場所としては最適と考えますが、指導時間や指導形式を決めてから指導場所の選定を検討します。

Q 中学校の授業で行っ

ている、ICTを活用した授業の実践や地域経済分析システム（RESAS）を利用した村づくり学習に取り組んでいます。具体的なRESASの活用状況は

A 7月から実施

教育長

公益財団法人山梨総合研究所の支援で、7月から実施しています。RE

SASの活用は、基本研修、操作演習を行い、地域の状況を把握する中で、課題分析を行っています。地域の魅力や課題を生徒の視点で考え、学習に取り入れることにより、郷土への思いを深める教育を行っています。

（再質問あり）



学童保育所 どうしっこ

Q 効果的な交通手段の整備は

A 住民ニーズを把握し効果的な運用を図る



ひろふみ
大田博文 議員

大田

総合計画の中に、村民のニーズを把握し、効果的なバス路線や住民ポランティアによる交通手段の整備、導入に向けた検討が必要であるが、地域全体での公共交通を支える手法とは

総務課長

住民ニーズを把握し、効果的な運用を図るための検討になり、法人の育成支援か、ポランティア組織の活用か、需要調査と、経費負担も考慮し決定したいと思います。また、住民の足の確保として、公として関わる必要もあると考えています。

Q 保育所は、急傾斜地の警戒区域に指定されています。保護者が安心して預ける事が出来る施設を検討する必要は

A 「公共施設等総合管理計画」の中で検討

住民健康課長

現在の保育所は、新耐震基準を備えた建物ですが、保育所周辺は急傾斜地の警戒区域の為、毎年山梨県土整備部砂防課にも現地の危険度調査を依頼しています。

新たな施設整備は、現在の保育所施設が建築後20年で、新建築基準を備えているので、今後は「道志村公共施設等総合管理計画」等の中で検討していくものと考えています。

Q 役場庁舎は、建築から50年以上を経過し、耐震性にも問題があります。庁舎の建て替えを検討した事は

A 「庁内検討委員会」で協議

協議

総務課長

平成23年から学校校舎と役場庁舎の耐震補強及び建替え検討を開始し、庁内検討委員会を設置。結果、耐震性の判断から、小中学校校舎の検討を早期に行った。平成25年3月、役場庁舎建設にかかる基金条例を設置し積立を開始しました。

Q 今後の方向性と村民の意見や意向は反映されるか

A 村民で構成する庁舎検討委員会を設置

総務課長

現役場庁舎は、既に51年経過しており、防災拠点施設としても、早急に庁舎検討を行う必要があります。

村民の意向を伺う為、村民で構成する庁舎検討

委員会を設置し、職員で構成する庁内検討委員会で協議を進め、最終的には、委員会での検討事項は、村長が答申を受け、財政面での検討を行い、役場庁舎の方向性を定めます。

(再質問あり)



役場庁舎

議会活動報告

●四市村議員交流に参加

平成 29 年 7 月 5 日

上野原市議会の呼びかけで、丹波山村・小菅村・道志村の議会議員が上野原市宮桂川野球場に集まり、グラウンドゴルフをして交流しました。

当日は、37 名が集まり 8 チームに分かれ試合を行いました。試合終了後、会場を移して懇親会を行い、意見交換をするなかで、何か共同でできることがあれば、お互いに参加を呼びかけることになりました。



グラウンドゴルフ開会式

●四市村議員交流講演研修会に参加

平成 29 年 8 月 31 日



上野原市役所にて

上野原市議会主催による講演研修会に参加しました。都留市・大月市議会・丹波山・小菅・道志村議会議員 50 名が出席し、講師に都道府県議会議長会議制度研究アドバイザーの野村稔先生を招き「議会の活性化について」地方議会のあり方など、自身の経験を交えお話をされました。

地方議会の役割として執行機関を監視し、政策を提言する議会、二代表制の意義など、また、議会改革について議員報酬や議員定数について、減らすことが議会の改革ではないなどのお話がありました。

今回の講演会に参加し、郡内東部地区の議会議員の多くの方々と顔見知りになりました。

●議長・議会運営委員長 行政視察

平成 29 年 7 月 20～21 日

長野県飯綱町議会及び小川村・縄文おやき村視察。飯綱町議会議長は、7 期当選し議会改革を永年手がけた人でした。特に、議会白書作成、政策活動議員としての自負、9 月に来年度予算についての要望を行う等、大変参考になりました。

小川村・おやき視察は、1 車線で交互通行のできない道路を、15 分走った山奥で生産販売している。なぜ山奥か。運転できないお年寄りが歩いて集まれる場所で、その土地で取った農産物を持ち寄り、昔ながらの方法で作って販売している。不便を逆手にとって活動している状況でした。



飯綱町議会との意見交換会

動 報 告

●H29年度山梨県東部広域連合一般会計予算 平成29年4月1日

※養護老人ホーム大鶴楽生園の廃園に伴い道志村の負担金は前年対比1,284千円増加しています。
 ※東部広域連合は養護老人ホーム大鶴楽生園の廃園手続きを進めており、平成29年12月末までに入所者の転出と平成30年3月末までに全ての手続きを完了する予定です。

(1) 歳入、歳出予算状況表 (単位：千円)

区 分	平成29年度 A	平成28年度 B	B - A
歳入、歳出金額	217,205	229,558	△12,353

(2) 構成市村分担金明細 (単位：千円)

区分 市町村	広域計画	介護認定	養護老人 ホーム	情報公開	障害認定	公平委員会	計
都 留 市	16,906	11,351	9,129	54	552	108	38,100
大 月 市	14,730	12,671	10,949	53	622	127	39,152
上 野 原 市	13,633	11,337	9,898	49	618	74	35,609
道 志 村	2,107	1,755	1,133	32	56	11	5,094
小 菅 村	1,415	1,326	1,184	30	44	9	4,008
丹 波 山 村	1,276	1,221	1,111	30	55	7	3,700
大月都留広域	—	—	—	—	—	7	7
計	50,067	39,661	33,404	248	1,947	343	125,670

●第7回婚活 in どうし清流のクレソンと魚釣り 平成29年9月10日

結婚相談員主催による婚活が開催されました。議会では、参加者の送迎やBBQ会場の設営などをお手伝いしました。

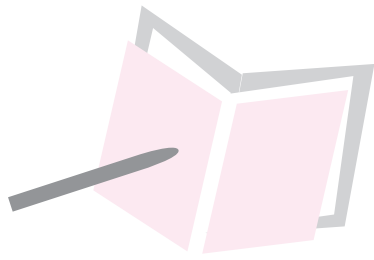
当日は26名(男女各13名)の参加をいただき、クレソン畑でクレソン収穫体験、試食やクレソンジュースを作りました。また、フィッシングセンターで魚つりとBBQで盛り上がりました。5組がマッチングしお付き合いが始まりました。



流しそうめん 舌鼓



フリータイム



議 会 活

●建設厚生常任委員会の活動

平成 29 年 8 月 22 日

水カフェどうしの取り組みについて、地方創生加速化交付金の効果検証について議題として第3回目の検証を行いました。水カフェどうしの運営状況と、道志村のPRや移住ガイドの取り組み状況等について説明を受け、入り込み客数と移住相談件数などKPIの達成はしたものの、本村の移住者受け入れ住宅の選択肢が少ないなどの課題がある、移住者を含めた公営住宅の建設を進める事、空き家バンク登録の物件を増加させる事、また、水カフェどうしの集客には季節ごとのレイアウトなど工夫も必要である旨早急な改善を求めた。



空き家バンク登録家屋

●町村議会広報編集委員行政視察（石川県内灘町）

平成 29 年 8 月 23 ~ 24 日



内灘町広報委員との意見交換

山梨県町村議会広報研究協議会主催の行政視察に参加しました。内灘町では、議会だより編集特別委員会により議会だよりが作成されており、町村議会広報全国コンクールにおいて、何度も入賞しており発行回数も130号を数えています。

議会広報の取り組み、編集、今後の課題をテーマに、2時間以上活発な意見交換が行われ、大変参考になり、今後の議会だより編集に役立て、読みやすく、読まれる議会だより作りをして行きたいと思います。

●総務文教常任委員会の活動

平成 29 年 9 月 1 日

9月1日に公民館小会議室において、委員会を開きました。昨年より進めてきた、小中一体校舎における問題点や小中一貫教育に向けての課題について、昨年度末に小学校からは、アンケート方式で回答をいただきました。

今回の会議において、1学期が終わり実際の共同生活の中で出た成果や課題、また2学期に予想されることなどについて、アンケート及び聞き取り調査などを実施することを決めました。



道志小・中学校一体校舎

あの一般質問は今…

平成26年3月定例会

質問

各指定管理の運営状況について

答弁

12の施設を管理委託施設として・毎年度、事業報告書を提出していただき運営状況を把握している。

平成28年12月他2件定例会

質問

新たなドクターヘリポートの建設予定は

答弁

ドクターヘリの要請件数は年々増加している。村内の西部へ用地を確保し近隣の住民の協力を得て実現する。

その結果今は



大室指地区場外離着陸場

- ①過疎地域自立促進計画に位置付けている。
- ②平成26年に関係機関と専門家等で検討した候補地を中心に検討する。



水源の森入口

現在は、幾つかの施設は、老朽化が進み使用出来ないものや、赤字の為業者が撤退してしまっ、使用してない施設がある。

議会の考え

道志村としても必要性の高い施設であり早急に検討、実現すべきである。

空いている施設については、早めに、公募などで幅広く使用事業者を募集、選定することで赤字削減を図ること。

紹介

しょうかい

農業委員会

会長 佐藤 高正



本年7月、農業委員に任命されました。その主たる任務は農地転用の審査・農地の利用状況調査位とと思っていました。いざ、就任すると、それら他に農地利用の最適化の推進や農業の担い手の育成・確保の取り組み等も含まれることを知りました。前者の作業は、何とか出来るかと安易に考えていましたが、後者については、例えば農地（土

壤）の特質・農業者の事情・過疎と高齢化対策・社会情勢の推移の把握等の課題が数多く、解決には、多岐に及ぶ知識に精通する事が必須条件であり、浅学非才の身には、力不足と心配です。本来の営みの下での農業は、本来の作業の他に鳥獣や病害虫とも付き合わねばならず、精根込めた土地は、命の源となる食物を生み出してくれます。（少なからず自然の妨害が有り。）同時に四季折々に変える姿―富士を背に里の山々や草花・清流そして青い稲を波打たせ渡り来る風等が織りなす様―は一幅（服）の絵であり清涼剤と

なり一時の憩いを与えてくれます。特に都会の喧騒を離れ訪れ来る人々の心身を癒す最良の回復剤となります。この様に農業は、食料の確保、国土

の保全、地域文化の継承、水源の涵養、教育的機能等、多様な役割が有り、正に農業は国の礎である。新しい農業委員会制度となり少数の農業委員ですが道

志村の農業活性化のため努めて参りますので、叡知を持つ先輩方と進取の気性に富む若人の協力を頂き、調和する「郷」達成の一助になれば幸いです。



地域おこし協力隊による野菜栽培



下善之木地区のそば畑風景

がんばる人紹介

地域や家庭と共にある学校を目指して



道志中学校
校長 興石 まこと 信

赴任して半年がたちました。豊かな自然、小中一体型の新校舎、そして、何事にも全力で取り組む子どもたちに囲まれ、充実した日々を過ごしています。

過日の学園「若鮎祭」では、多数の保護者・来賓・地域の方の温かい声援を受け、子どもたちは演技・競技することができました。昼には、地区ごと、お弁当や持ち寄ったおかずを広げ、楽しく会食する姿が見られました。うちの子、よその子の区別なく、子どもを地域の宝として、見守り育てていく道志の温かい風土を実感しま

した。

多感な中学時代は、多くの大人が関わることで情緒的な安定が図られ、子どもたちは、失敗を恐れず思いっきり挑戦ができ、新しい自分を作っていくことができます。こうした道志のもつ風土を大事にし、未来へとつなげていくためにも、今まで以上に、授業や諸活動に保護者や地域の方に参加していただく機会を増やすとともに、地域の伝統や文化について学習や体験する場を設け、ふるさと道志に誇りと愛着をもった子どもの育成に努めていきます。そして、地域や家庭とのつながりをさらに深め、地域と共にある学校を目指して、職員が丸となって取り組んでいきたいと思えます。今後ともよろしくお願いいたします。

写真募集中 (議会だよりに掲載させていただきます。)

編集後記

9月議会も終わり議会だより第36号をお届けします。

新メンバーによる編集も2週目に入り、この1年間各種の研修、他市町村の先進的な議会広報から学ぶことは多かった。そこでこれから「どうし議会だより」の編集をより見やすいものにしていくのは、なにをすればよいのかということになるが基本原則は、ありのままに、住民と共に、分かりやすく、ということを学習させてもらった。

これからも、この基本原則を守り、より親しまれる議会広報編集に努めて参りますのでよろしく申し上げます。(佐藤長久)

広報常任委員会

委員長 菅谷 政文
副委員長 佐藤 長久
委員 杉本 孝正
委員 佐藤 進